

# 2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(42)番 福山市立山野小学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決力	コミュニケーション力	協調性・柔軟性	チャレンジ精神
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○豊かな学力(問題解決力=基礎学力に支えられた思考力, 判断力, 表現力)を身につけた児童	○豊かな心(協調性や柔軟性のある幅広いコミュニケーション力)を身につけた児童		○自らたくましく生きる(夢や目的の実現に向けて, 主体的にチャレンジする)児童

## 2 授業の現状

・「少人数の学びの創造」をテーマに年間を通じて小中合同授業に取組み, 同じ視点で授業改善を進めている。しかし少人数ゆえ, 児童と教員の一問一答になりがちで, 思考の深まりや表現活動では, 不十分な点もある。

転換

## 3 めざす授業の姿

・個々の児童に応じた資料, ヒントカードの提示や発問の工夫や構造的な板書の工夫により, 児童の思考が深まり, 自ら課題を解決しようと行動する授業  
 ・児童が意欲的に活動する場を構築し, 「分かった・できるようになった・楽しかった」等の自己肯定感を味わえる授業

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<input type="checkbox"/> 個の困り感を把握し, 個に応じた指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 発問の精選を継続していく。児童の思考の助けになるよう導入や視覚支援を工夫し, 「めあて」と「まとめ」の整合性を図る。 <input type="checkbox"/> 問題解決の時間を確保し, 児童の考えを発表できるように, 支援していく。					

## 5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (肯定的評価) 児童生徒質問紙調査(%) (肯定的評価)

	A問題	B問題	自分にはよいところがある	
国語	( )	( )	先生はよいところを認めてくれる	
算数(数学)	( )	( )	将来の夢や目標を持っている	
理科	( )	( )	人の役に立つ人間になりたい	

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	
「やりなさい」と言われなくても, 自分から進んで勉強をしている	
授業では, 課題について, 「なぜだろう」「やってみよう」と思う	
授業では, 友だちと話し合うなどし, 考えを深めたり広げたりしている	

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (3)月末現在

暴力行為	0	不登校	37.5
------	---	-----	------

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 14/24	○「握力」, 「立ち幅跳び」, 「ソフトボール投げ」ともに県平均よりも下回った。	○「握力」は, 県平均に比べ2ポイント程度低い学年があり, 個人差が大きい。 ○「立ち幅跳び」は, 県平均に比べ10~15ポイント低い学年があり, 個人差が大きい。 ○「ソフトボール投げ」は, ほとんどの学年で県平均に達していない。	○「握力」の向上に向けて, 雲梯や登り棒に挑戦させたり, 毎日「にぎにぎ百回」を取り入れたり, 雑巾絞りなどにも取り組ませる。 ○「立ち幅跳び」の向上に向けて, 授業でジャンプ系の運動を取り入れる。縄跳びや跳び箱などのリズムで瞬発力をつけるように取り組む。 ○「ソフトボール投げ」では, 投球フォームの改善を指導する。
(女子) 4/8			
目標値	○新体力テストの総合評価のAB率を90%以上にする。 ○「握力」の数値を県平均値にする。 ○「立ち幅跳び」の数値を県平均値に近づける。 ○「ソフトボール投げ」の数値を県平均値に近づける。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者] (%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%) (5)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	100	0
自分の考えは, 認められている	100	0